

信州省エネコンテスト 2012 冬 結果報告(簡易版)

NPO 法人みどりの市民

概要

「信州省エネコンテスト 2012 冬」は 2012 年 1 月の 1 ヶ月間に電気の省エネに取り組んでいただくという企画です。232 世帯、9 店舗にご参加いただき、その結果、昨年(2011 年)と比べて電気は 27919 kWh となりました。

CO₂削減量に換算すると、電気は 13205 kg-CO₂(中部電力 2012 年度 CO₂実排出原単位: 0.473kg-CO₂/kWh 使用)の削減となりました。

(1) 参加数

	世帯数	店舗数	計
全参加数	232	9	241

(2) 省エネ達成率

	世帯	店舗	全対象
電気省エネ達成率	87%	78%	86%

(3) 住宅種別、オール電化・太陽光発電別の電気省エネ達成数・割合

(3. 1)

種別	応募世帯数	省エネ達成世帯数	省エネ達成率
戸建住宅	192	169	88%
集合住宅	40	32	80%

(3. 2)

種別	応募世帯数	省エネ達成世帯数	省エネ達成率
オール電化	38	33	87%
太陽光発電	50	46	92%

(4) 電力削減量

(4. 1) 世帯の場合 (省エネ達成世帯数：201)

	削減量 (合計)	削減量 (1世帯平均)
1ヶ月	2241.5kWh	111.5kWh
1日あたり	723kWh	3.5kWh

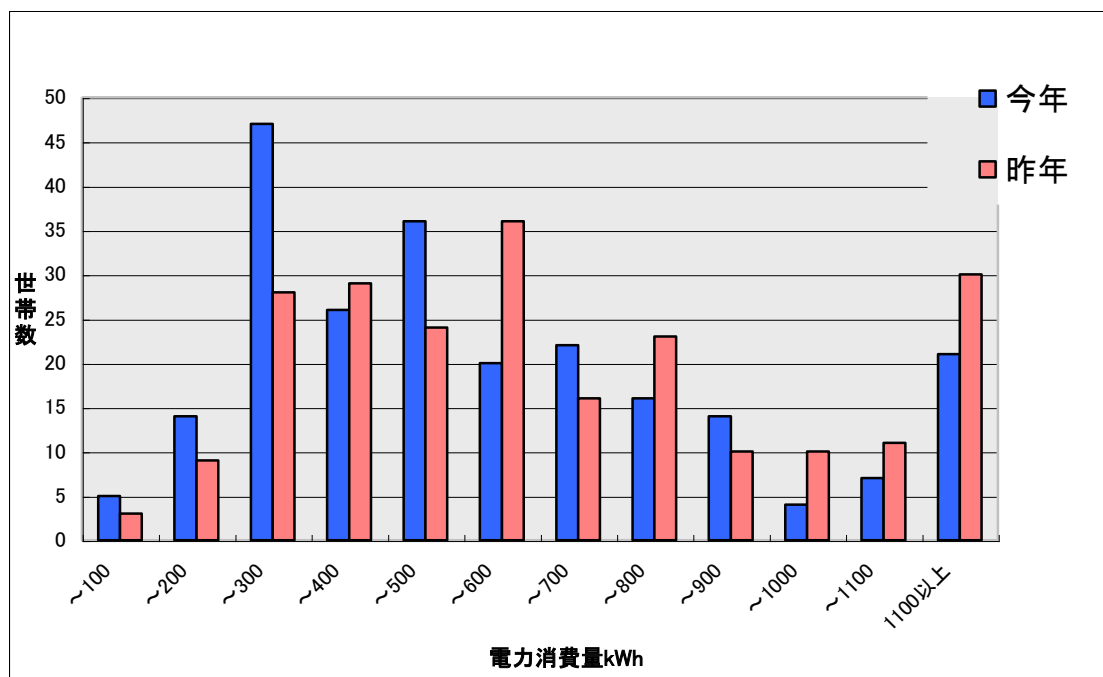
(4. 2) 店舗の場合 (省エネ達成店舗数：7)

	削減量 (合計)	削減量 (1店舗平均)
1ヶ月	5504kWh	786.3kWh
1日あたり	177.5kWh	25.3kWh

(5) 電力使用量

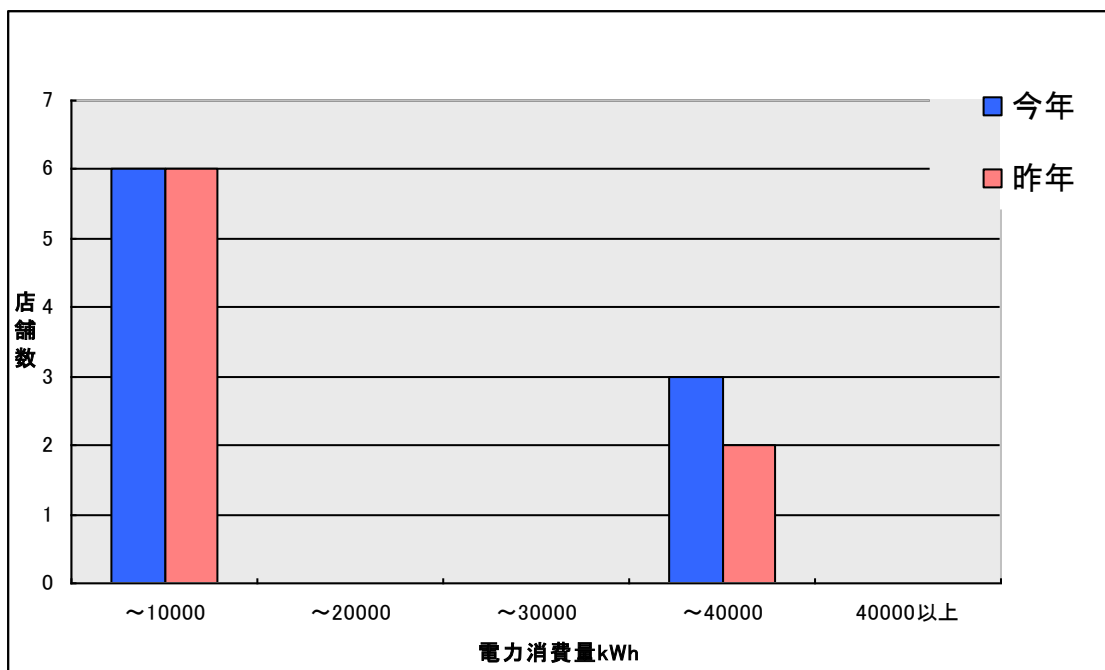
(5. 1) 世帯の場合

平均使用量：560.7kWh (昨年：656.8kWh)



(5. 2) 店舗の場合

平均使用量：12328.1kWh（昨年：10725.5kWh）

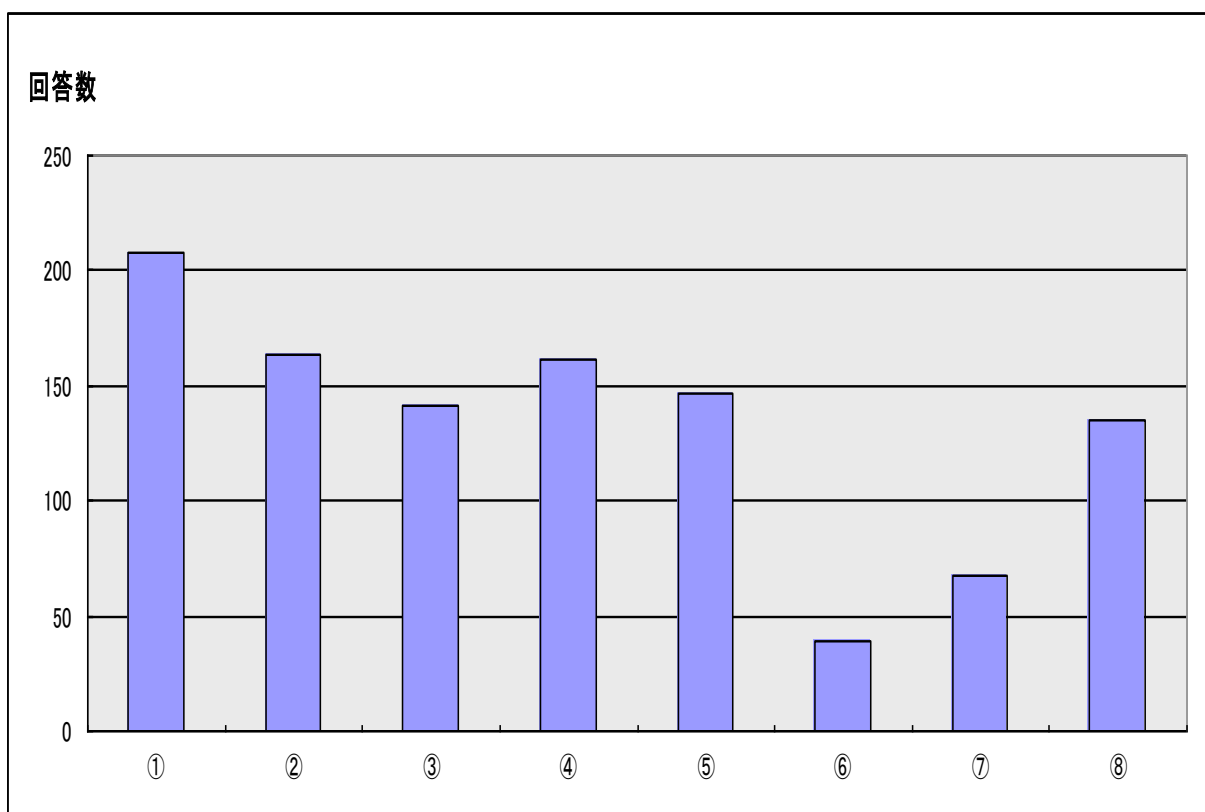


(6) 取り組んだ省エネ活動(7項目) アンケート結果

アンケート7項目

- ① 電化製品や照明、エアコンなどの電源(スイッチ)をこまめに切った。
- ② 使用後の電化製品のコンセントを抜いた(エコタップを利用した)。
- ③ 冷蔵庫の使い方(温度設定を下げる、扉の開閉、詰めすぎ)などに気をつけた。
- ④ 炊飯器やポットの保温をやめた。
- ⑤ 暖房機器の設定温度を20℃以下にした。
- ⑥ ストーブや暖房機器を使わなかった。
- ⑦ 給湯器の設定温度を下げた。
- ⑧ テレビは省エネモードに設定し、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消した。

アンケート項目ごとの実施回答数



(7) その他の具体的な省エネ活動

～世帯～

暖房

【部屋】

- ・家の中ではおるものを着て暖をとる。肩や首にえりまき。
- ・エアコンの代わりにファンヒーターを使い、温風パイプをこたつに引き込みこたつの電源は切る。
- ・窓に保温シートを貼る。
- ・ひざかけを一枚余分に着る。
- ・太陽光を利用し10時～17時まで暖房機を使わない。
- ・電気コタツを豆炭コタツに変えた。
- ・ストーブの設定温度を下げた。
- ・日中はヒーターを切りカイロ、レッグウォーマー、服でカバー。着る毛布を着用。
- ・暖房はリビングの温水ルームヒーター18℃のみ使用。
- ・ホットカーペットを使わない。
- ・居間のテーブルを陽のあたる南窓近くに移動した。
- ・天気の良い日はカーテンを開け日差しを入れ早目に閉める。
- ・こたつは入る人がつけ出る人が消す。
- ・ストーブをつけたら洗濯物を干す。
- ・天井扇を取り付けて暖房器具と連動させることで設定温度が低めでもよく、ファンヒーターのみでホットカーペットも不要となる。
- ・窓際ボードで窓下面からの冷気を防いだ。
- ・カーペットと床の間に分厚いプレイマットを敷くと非常に暖かくなった。
- ・窓際に発泡スチロール貼りすきま風を防ぐ。
- ・3重タイプの障子にする。
- ・こたつの下に断熱シートを敷いた。
- ・室温15℃を目安にストーブを消す。
- ・日中は障子をはずして部屋を温める。

【布団】

- ・湯たんぽを使用。
- ・電気シーツをやめた。
- ・寝る時もマフラーをする。

お風呂

- ・ 24 時間風呂の設定を 3℃下げ入るときのみお湯を追加。
- ・ 湯船に熱遮断シートをのせる。
- ・ 家族が続けて風呂に入る。
- ・ 入浴は明るい内に済ませる。
- ・ 洗髪後ドライヤーを使わない。
- ・ 出かけたついでに温泉を楽しむ。

トイレ

- ・ 便座の保温をやめ厚手のシートを使用。

台所・調理

- ・ 電気湯沸し使用中止、石油ストーブの上で湯を沸かし魔法瓶に移す。
- ・ 炊飯器を使わず圧力鍋で炊飯。
- ・ 鍋帽子を調理器具にかぶせて保温効果。
- ・ 冷蔵庫は弱に物を入れすぎない。
- ・ 調理はできるだけ薪ストーブの上で。
- ・ 電気ケトルやレンジスチーマーを使い電気コンロの時間を短縮した。
- ・ 食器の油汚れは古布でふいてから洗う。
- ・ 冷蔵庫内にビニールカーテンをつける。
- ・ 電気ポットを使わずに必要な時のみ沸かす。
- ・ 食器洗いなどにお湯は使わない。

テレビ・パソコン等家電

- ・ テレビ番組を選択して見た。
- ・ 朝の時計がわりの TV をやめトイレ、洗面所に時計を置いた。
- ・ ブラウン管のテレビを買い換えた。
- ・ TV は電源を抜いておき本当に見たい時にしかつけない。
- ・ テレビよりラジオを聴いた。
- ・ パソコンを極力使わない。
- ・ 掃除機を使わずにほうきで掃除。
- ・ タイマーを利用して食洗機、炊飯器、洗濯機などナイトタイムに使用する。
- ・ 加湿器は使わず風呂のシャワーでためた蒸気を入れ、朝は洗濯物を室内に干す。
- ・ 掃除機の使用を少なくしフローリングワイパーを使うが、取替えシートではなく古着を切って代用。
- ・ 使用しないものはコンセントをぬいた。

照明

- ・電球を LED に変えた。
- ・常夜灯を蓄電池タイプのものにした。
- ・暗くなるまで電灯はつけない。
- ・人の居ない部屋の照明を消す。
- ・蛍光灯は2本のところを1本に。

ライフスタイル

- ・家族がなるべく同じ部屋ですごすようにした。
- ・手作りの保湿カイロとあずきピロウで寒さ対策。
- ・筋トレにより冷えに強くなった。
- ・昼間の太陽熱を取り込み夕方の暖房時刻を遅らせる。
- ・電気時計の使用を止めた。
- ・外出時は冷蔵庫以外のコンセントを抜き長期留守時はブレーカーを落とす。
- ・電気、灯油、ガスなどの使用量をこまめにチェックした。

再生可能エネルギー、高効率機器の使用、省エネ製品への買い換え

- ・都市ガス用エネフォームを導入。
- ・太陽光発電の導入。
- ・冷蔵庫を省エネタイプに変える。
- ・家庭用コジユネシステムを積極的に活用し、電気使用量の多い機器は発電中に使用、なるべくピーク時の発電に努める。

凍結防止帯

- ・水道凍結防止帯にセーブ 90 を設置。
- ・冬期は使わない水道栓を閉め凍結防止帯の電源を入れない。

その他の省エネ行動

- ・積雪のつど太陽光発電パネルの除雪をした。
- ・電気の契約をタイムプランに変更。
- ・オイルヒーターの使用を控えた。
- ・通勤を車から自転車にした。
- ・二重サッシにリフォーム。
- ・グッピーのヒーター代わりにケースをエアコン吹き出し口に置く。
- ・雨戸をしめるようにし、窓との間に空気の層を作り断熱効果を高めた。

～店舗～

- ・蛍光灯を LED に取替え。
- ・暖房機をガスに切り替え。
- ・エアコンの使用をやめペレットストーブに変えた。
- ・マンション共用部照明の節電。
- ・夜間不用照明をセンサー付き LED ライトに取り替えた。
- ・冷蔵庫 2 つを 1 つに。
- ・デスクを日当たり場所まで移動。
- ・毎日の天気予報により水道電熱帯をオン、オフに。
- ・パソコンはこまめにスイッチを切る。
- ・便座フタ閉めの励行とスーパー節電モードセット。
- ・地下機械室の熱を夜間館内へ導入し暖房負荷の軽減をはかる。
- ・ジェットバス（ジャグジー）の休止。
- ・照明管球を間引く。